

Take Free

季刊 スキマル

suki

mal

2019

冬号

知ってほしい、
知られざる信州。

Vol. 04

特集

松本の奥座敷・浅間温泉
殿様が通った道をたどる

バスを降りたらすぐそこにある、
「ヒト」「モノ」「コト」「スポット」紹介



1 港の湯



組合員専用の外湯の一つ。以前は日帰り入浴できたが、現在はできない。

2 因又湯旅館



築240年超の建物。「坂廊下」と呼ばれる木造階段など随所に趣を感じる。

3 蔵の通り



目の湯の母屋の横、なまこ壁の3つの土蔵が並ぶ通り。

4 湯坂通り



通りには街灯と共に坂の名前を掲示。坂の両側に旅館が立ち並ぶ。

「松本城主が通った道」を歩いてみよう

浅間温泉ゲートから、のんびり坂を上って
ゴールの「枇杷の湯」までは20分程度。
温泉街の雰囲気味わおう。



5 平和堂



湯坂通りと山の手通りが交わる場所にある。レトロな雰囲気の建物の特徴。

6 飲泉所



「山の手洗い湯」と名付けられている飲泉所。温泉を飲むためのコップもある。

お話を
伺った人

・本郷歴史研究会顧問
・浅間温泉商業会顧問
・浅間温泉観光協会理事

野本道夫さん

1933(昭和8)年生まれ。
全国各地の温泉に足を
運んだり、県主催の「語り
部」育成講座に参加したり
とフットワーク軽く、浅
間温泉のさまざまな魅力
を伝えている。



意外と坂が多い浅間温泉。地元の人曰く、通りが入り組んだ温泉街を行き来するには、この道が便利らしい。なるほど、やはりその辺りは殿様も分かっていったのだなと思いつつ、のんびり歩くこと少しだけ、殿様のような気分になったような：でも、浅間温泉の奥深さはほんの序の口。野本さんの話を思い出して、もっといろいろ知りたいことも出てきたけど、それはまた、別の機会に。

言を見つけた。「殿様はこの道を通って、湯坂を上がって枇杷の湯へ行っていた。殿様が通ると、皆は家の前にそろって出迎えた」と野本さん。一度来ると、1ヵ月ほど滞在していたそうで、その間は夜警や道の掃除などに皆忙しかったという。実際に「松本城主が通った道」を歩いてみよう。「浅間温泉ゲート」をくぐり、「港の湯」の横から住宅地を進むと突き当たりには「目之湯旅館」が。湧き出る源泉には洗眼薬として知られるホウ酸が含まれていることからその名を持つ旅館で、平日15時〜21時は日帰り入浴もできる。旅館の脇の道を進むと見えてくる蔵の通りを曲がり、5差路を湯坂通りへ。日が暮れてくれば、街灯がともり、温泉街の風情が増す。平和堂がある角を曲がると山の手通り。飲泉所でちよつとのを潤して進むと、その先に「枇杷の湯」(p.4)が見えてくる。

浅間温泉の「生き字引」的存在ともいえる、野本道夫さんに話を聞くと、トピックとして返ってきたのは「平塚らいてう」「川島芳子」「市丸」という3人の女性の名前。エピソードはたくさんあるが、今の温泉街に残るのは、川島芳子旧宅跡の駒札くらいで、痕跡をたどるのは難しい。では、ほかに歴史を感じることはないのだろうか？ふと、目をやった散策マップ内に「松本城主が通った道」という文

松本の奥座敷と呼ばれる浅間温泉。江戸時代に初代松本藩主の石川氏により「御殿湯」が置かれ、松本城主のお殿様が通うようになったことに由来する。明治以降は多くの文化人に愛され、正岡子規や伊東左千夫、竹久夢二、与謝野晶子、若山牧水、田山花袋らが訪れた。大正昭和時代、温泉での芸者遊びが盛んだったころには100人もの芸者がいたという。中でも市丸は、16歳のときに浅間温泉で芸者見習いとなり、19歳で上京して人気芸者に。その後、歌手としてデビューして数々のヒット曲を飛ばした。今は、芸者は一人もいなくなったが、地元の人々が通う共同温泉には女風呂の方が大きいところもあり、当時の面影を感じさせる。

歴史と文化が息づく
浅間温泉街を歩く



ゆっくり ゆったり

寒さ極まる冬

松本の名湯・浅間温泉へ



開運堂 柳澤商店

Access

松本バスターミナルより浅間線
「浅間温泉入口」下車、徒歩2分

Information

松本市浅間温泉2-4-17
TEL 0263-46-2328
営業時間 9:00～17:00ごろ 不定休

大正時代から100年続く老舗菓子店。初代は、本町通りに本店を構える「開運堂」で修業した後に、のれん分けして始めたという。現在は3代目が家族で店を切り盛りする。店内に飾られた看板は、松本駅お城口に掲示されている3代目駅舎の表札を揮毫木彫した安曇野出身の俳句宗匠・篆刻家の曾山環翠が手掛けたもの。

店の奥にある工房で一つ一つ手作りしているお菓子は、昔ながらの素朴で懐かしい味。「甘くるみ」は、甘さ控えめのこしあんの中に、県内で採れた鬼くるみを刻んで入れている。「華姫様」は、鬼くるみと蜂蜜を使った干菓子で、しっとりとした優しい食感が特徴。

ほかに、木苺のジャムやレーズンを挟んだ「木苺サンド」「レーズンサンド」は洋風の仕上がり。もちろん温泉街の定番「温泉まんじゅう」もあるので、食べ歩きのお供にぜひ。

浅間温泉 わいわい広場

Access

松本バスターミナルより浅間線
「浅間温泉入口」下車、徒歩2分

Information

松本市浅間温泉1-29-17
TEL 080-6933-0489
冬季営業時間 8:30～16:30 木曜定休
いちご摘み採り体験は予約優先、
料金は3円/1g(採った分を量り売り)
<https://www.yyhiroba.jp/>

いちごソフト



。浅間温泉のお茶の間をコンセプトに、観光客や地元の人々がくつろぎ、交流できる場所として2019年7月にオープン。「音泉いちごハウス」のほか、2つのコンテナハウスと、ベトナム同伴も可能な芝生スペース「いちご公園」を備える。

音泉いちごハウスでは、浅間温泉の新しい名物「音泉いちご」を栽培。一年を通じていちご摘み取り体験ができる。

コンテナハウスは、地元農家の朝採り野菜や味噌、しょう油、漬物など特産品を販売する直売所「物産 えんの屋」と、地元の食材を使った軽食やスイーツが楽しめる「カフェおちのわ」。音泉いちごの販売や、信州の山と雪を連想させる抹茶と白あんがコラボした「いちごのお汁粉」など味わえる。毎月15日の「いちごの日」は限定スイーツが登場することもあるのでチェック！



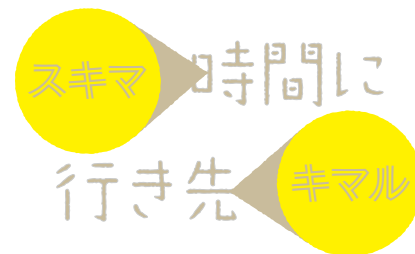
「殿様の湯」として代々受け継がれてきた歴史ある温泉。無色透明の湯は、弱アルカリ性単純泉。ヒノキの露天風呂を備えた男女別の大浴場は、1週間に1度、男女を入れ替えている。

野趣豊かな野天風呂は、玄関から一度外へ出て、石段を上った先にある。自然の景観を生かした湯舟につかれ、湯面に移る木々の葉の色と流れゆく湯の音に、身も心も癒やされる。

湯上がりにゆったりと休憩できるスペースやマッサージ処、手打ちそばが味わえる食事処やカフェも備える。敷地内にはサルスベリや古木やケヤキの古木と共に、松本

城主・石川康長公お手植えの松も。きれいに手入れされ、四方に流れるように広がる枝ぶりは必見だ。

枇杷の湯の歴史は、初代松本城主・石川数正公が湯殿を整備したことにさかのぼる。初代の御殿守は、数正公の三男康次の子であった石川昌光。戦で負傷して歩行が困難となったため、1594(文禄3)年、その役職を預かったという。その後、昌光は小口小斎と名を改めた。以降、小口家が代々湯守を務め、現在は17代目。館内には、城主の残した着物や往時の資料、家宝なども展示している。殿様や家老の名前が記録されている「湯銭帳」などもあるので、歴史に思いを馳せてみよう。



湯々庵 枇杷の湯

“松本城主の湯殿”
400年の歴史を持つ
日帰り温泉

Access

●松本バスターミナルより浅間線「浅間温泉」下車、徒歩10分

Information

松本市浅間温泉3-26-1
TEL 0263-46-1977
営業時間 9:00～21:00 ※最終受付20:00
月曜定休(祝祭日の場合その翌日)
入場料 大人800円、子ども(4歳～小学生)500円
<http://www.biwanoyu.com/>



IN MY TOWN

松本の街で

004

信州松本女鳥羽せっけん工房



「信州松本
女鳥羽せっけん工房」
今井邦信さん・里美さん
製造を担う里美さんが代表を務め、
邦信さんは営業として各地でデモ販
売も行う。「ものづくりは面倒だっ
たり大変だったこともありますが、
できあがったときの喜びは大き
い。好きだから、特にそう思うの
かもしれませんね」

松本の中心市街地を流れる女鳥羽川沿いにある「信州松本女鳥羽せっけん工房」。合成界面活性剤や防腐剤など石油由来の成分を一切含まない、肌の弱い人も安心して使えるという石けんは、上高地「五千尺ホテル」や、扉温泉「明神館」などのPB商品としても展開されている。その秘密は、信州の食文化を支えている発酵食品に欠かせない「麹」(こうじ) 工房を営む今井邦信さん・里美さんに話を聞いた。

里美さん…使っているのは、松本の老舗味噌店「萬年屋」の麹です。肌经常在する箇所のバランスが崩れると肌トラブルを引き起こすんですが、石けんの優しい除菌作用で肌常在菌をほどよくリセットして、麹と酵素が分解した成分により健康的、美的な菌のバランスを保つことができます。石けんは、生きた麹をそのまま使うので高温加熱はせずに、50度以下でゆっくりと固めています。私自身、肌トラブルに悩まされることが多く、安心して使えるものが欲しいと思って、趣味として作り始めました。



信州松本女鳥羽せっけん工房
松本市女鳥羽2-5-25 TEL 0263-33-0077
https://metoba-sapone.com/
商品は、県内の「とをしや薬局」ほか、
薬局、雑貨店、オーガニックストアなどで扱う。

里美さん…友達からも好評で「売ってほしい」と言われることもありましたが、まさか仕事になるとは思いもしませんでした(笑)。店を閉めた翌年に工房をスタートしましたが、最初は、見た目や香りを重視していました。邦信さん…食べ物と一緒に、シンプルなのが一番なんです。私は飲食店時代に、鍋のタレなどもよく研究していました。麹を使ってみようと思ったのも、それがあつたからかもしれません。

IN MY TOWN_004

時の流れが
変わる場所。

信州松本 美ヶ原温泉



ALPICO GROUP

〒390-0221 松本市里山辺527

ご予約・お問合せ

〈受付時間8:00~20:00〉

TEL.0263-38-7755

http://www.hotel-shoho.jp

翔峰

検索

展望風呂
美しい湯

「宿泊者翔峰温泉入浴サービス」

翔峰までの無料往復バスが1日2便出ています。
※人数に制限がございます。



寛ぎの空間とサービスを提供するフルサービスシティホテル HOTEL BUENA VISTA 長野県松本市本庄1-2-1 TEL.0263-37-0111 http://www.buena-vista.co.jp/ 松本バスターミナルより徒歩5分	松本駅前
松本バスターミナル隣 ビジネス・観光の拠点に最適 アルピコプラザホテル 長野県松本市深志1-3-21 TEL.0263-36-5055 http://www.alpico-plaza-hotel.jp 松本バスターミナル隣(南側)	松本駅前
信州松本 美ヶ原温泉 北アルプスと松本平を一望できる 開放感あふれる温泉旅館 翔峰 Shoho 長野県松本市里山辺527 TEL.0263-38-7711 http://www.hotel-shoho.jp/ 松本バスターミナルから 美ヶ原温泉行きバスで「翔峰前」下車	美ヶ原温泉
松本駅すぐ「朝食無料」のビジネスホテル エースイン松本 ACE INN MATSUMOTO 長野県松本市深志1-1-3 TEL.0263-35-1188 http://ace-inn.net/ 松本バスターミナル内	松本駅前
天然温泉と本格フランス料理を堪能できるリゾートホテル 上高地ルミエスタホテル KAMIKOCHI LEMEIESTA HOTEL 長野県松本市安曇上高地4469-1 TEL.0263-95-2121 http://www.lemeiesta.com 営業期間 4月下旬~11月中旬	上高地
天然温泉と本格フランス料理を堪能できるリゾートホテル 双泉の宿 朱白 「朱」と「白」2色の温泉でお寛ぎいただける、 諏訪湖畔の和風旅館 長野県諏訪市湖町通り3-2-2 TEL.0266-52-2660 http://www.suhaku.co.jp/ JR上諏訪駅より徒歩5分	上諏訪温泉



わたしらしい、あなたに会う。

HSS 八十二スタッフサービス
www.82staff-service.co.jp



経済学部

経済学科／経営学科／国際学科

地域政策学部

地域政策学科／地域づくり学科／観光政策学科



本学の特徴を

地域との連携

ゼミナール

留学、国際交流

キャリア支援

全国型公立大学

入学試験

の6つの視点からご紹介いたします。

詳しくはこちらから →



長野県 出身学生数 **328**人

主な出身高校：伊那北高校、上田高校、長野西高校、野沢北高校、松本県ヶ丘高校、松本深志高校 他

県内の主な就職先：長野県庁、長野市役所、(株)八十二銀行、(株)長野銀行、シナノケンシ(株) 他



新幹線で
約 **50** 分

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300番地
TEL.027-343-5417(代表)

<https://www.tcue.ac.jp/>

高崎経済大学

検索

